（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

# 平成29年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---|---|
| 事業名 | 宇宙留学サマーキャンプ2017 |
| 事業主体<br>（連絡先） | 飯田市<br>**飯田市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 地育力向上係** |
| 事業区分 | (3)教育、文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,398,023　円 |

## 事　業　内　容

【オリエンテーション】
【ミッション1】ゲームを通して仲間を知ろう！身体も頭もフル回転、花まる流チーム作り！
【ミッション2】飯田にあった！宇宙の足跡『御池山クレーター』を見てみよう
【ミッション3】いん石って何？私たちの『太陽系』について学ぼう
【ミッション4】天体観察
【ミッション5】人工衛星を動かすプログラムを作ろう
【ミッション6】『星』と私たちの生活とのつながりを知ろう
【ミッション7】ロケットを作って、打ち上げてみよう
【遠山郷体験】
【ミッション8】宇宙のとびらを開いてみよう。そして、宇宙を見て、考えて、自分の宇宙をつくりましょう」

【ミッション完了！全員修了証を手にしました】

## 事　業　効　果

①宇宙留学サマーキャンプの実施にあたり、多摩川精機（株）より、自社で開発した24時間360度昼夜を問わず撮影可能なカメラシステムのATLAS（ｱﾄﾗｽ）設置の提案があった。実際に、サマーキャンプでの学習の利用の他、カメラは5月からハイランドしらびそに設置し、インターネットを通じてしらびその景色を配信した。キャンプ終了後も設置継続の要望が地元からあり、その活用が期待される。
②今年度新たに県外へ募集を行い、2名（愛知県1名、岐阜県1名）の参加を得ることができた。いずれの参加者も「宇宙」に対する関心が高く、また、プログラム内容に興味を示し参加したとのことであり、当地域の資源を生かした当市ならではの宇宙教育の可能性を確認することができた。
③事業の計画段階において、多摩川精機（株）や（株）かます東京といった企業から提案や協力があり、新たな協力体制が生まれた。また、昨年度からの外部への情報発信により、飯田市での宇宙教育が徐々に全国的に認知されてきており、本事業から派生する形でサンケイツアーズ主催の「宇宙教室」が東京理科大学の協力を得て飯田市等を会場にされるに至った。
④すべての児童が充実感と満足感を持ってキャンプを終えることができた。児童は班ごとに目標を定めて3日間望んでいるが、座学や体験を通じて「宇宙」を幅広に学び、知的好奇心やグローバルな視野が養われた。

**【目標・ねらい】**

①飯田の強みを生かした特色ある飯田市教育の確立
②教育移住の可能性についての研究
③中山間地域のまちづくり気運の醸成
④子供の知的好奇心や内発的動機、協調性等の育成

※自己評価【A】

【理由】
・多様な主体との連携により充実した内容となり、子供たちに満足感を与えることができた。
・「宇宙」に関する様々な学びのほか、3日間を通じて、人との関わりやコミュニケーションの大切さも学ぶことができた。
・県外からも参加者を得ることができ、飯田の資源を生かした特色ある教育の可能性を探ることができた。

## 今後の取り組み

・特色ある飯田市教育の確立や教育移住の可能性の検証のため、3年目の事業展開を図る。
・３年目となる30年度は、より飯田の地育力を生かした「宇宙教育」の検討・実践へとシフトチェンジしていくタイミングとして、当該事業のみならず、他部署（美術博物館、産業経済部工業課等）とも協調を図りながら、多部署連携による年間を通じた「宇宙教育」として提供していきたい。（サマーキャンプは宇宙教育の一講座としていく）
・教育移住の観点から、当該事業が地域づくりにもつながる事業であることを市民に理解いただき、地域を巻き込んだ事業となるよう検討していく。